

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 8 月 31 日 (2006.8.31)

【公開番号】特開 2003-203560 (P2003-203560A)
 【公開日】平成 15 年 7 月 18 日 (2003.7.18)
 【出願番号】特願 2002-291916 (P2002-291916)
 【国際特許分類】

H 0 1 J 9/02 (2006.01)

H 0 1 J 29/04 (2006.01)

H 0 1 J 31/12 (2006.01)

【F I】

H 0 1 J 9/02 E

H 0 1 J 29/04

H 0 1 J 31/12 C

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 14 日 (2006.7.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 電子源の製造方法であって、

基体上に、各々が一对の電極と該電極間を接続する高分子膜とからなる複数のユニットと、該各ユニットの電極に接続された配線とを配置する工程と、

前記複数のユニットの各々を構成する前記高分子膜を、全て、低抵抗化し、炭素を主成分とする導電性膜にせしめる第 1 の工程と、

前記炭素を主成分とする導電性膜に、前記配線を介して電圧を印加することにより前記炭素を主成分とする導電性膜の一部に間隙を形成する第 2 の工程とを有し、

前記第 2 の工程は、前記第 1 の工程の後に行われることを特徴とする電子源の製造方法

。

【請求項 2】 前記第 1 の工程が、前記高分子膜に電子ビーム、光またはイオンビームを照射する工程により行われることを特徴とする請求項 1 に記載の電子源の製造方法。

【請求項 3】 前記各ユニットの電極に接続された配線を、行方向配線、列方向配線からなるマトリクス配線で構成することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の電子源の製造方法。

【請求項 4】 前記第 2 の工程は、各行方向配線または各列方向配線に結線された各ユニットに対して順次行なわれることを特徴とする請求項 3 に記載の電子源の製造方法。

【請求項 5】 前記第 2 の工程は、前記行方向配線と前記列方向配線のうちいずれか一方の配線群の全てに電位 V 1 を印加し、他方の配線群のうち一部の配線に V 1 とは異なる電位 V 2 を印加し、残りの配線に V 1 を印加する工程を有することを特徴とする請求項 3 または 4 に記載の電子源の製造方法。

【請求項 6】 前記第 2 の工程は、前記行方向配線うち一部の配線に電位 V 1 を印加し、残りの配線に V 1 とは異なる V 2 を印加し、前記列方向配線のうち一部の配線に電位 V 1 を印加し、残りの配線に V 1 とは異なる V 2 を印加する工程を有することを特徴とする請求項 3 または 4 に記載の電子源の製造方法。

【請求項 7】 前記第 2 の工程は、前記配線に接触配置された電氣的接続手段からの通電により行われる工程を有することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載

の電子源の製造方法。

【請求項 8】 基体上に配置された複数の電子放出素子を有する電子源と、該電子源からの電子線の照射により画像を形成する画像形成部材とを有する画像形成装置の製造方法において、前記電子源を請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の製造方法にて製造することを特徴とする画像形成装置の製造方法。